

# vipキット you Try neo

～～たったこれだけで、どこでも誰でも簡単に植物器内培養ができる！？～～

(オートクレーブもクリーンベンチも、面倒な培地作成やpH調整の手間ももはや不要です)



茎頂培養→無菌増殖  
(カーネーション、キク)

無菌播種→胚軸  
→カルス  
(ダイズ)

切り花の葉片  
→無菌増殖  
(ユリ)

無菌播種  
(レタス、シュンギク、ニンジン  
ダイコン、マリーゴールド、ヒュウガナツ)

立ち木枝→無菌増殖  
(ベニカナメ、ヒラドツツジ、ヤクスギ)

鉢花茎→増殖  
(コショウラン)

鉢花枝→ボトルフラワー?  
(ロベリア、トコナツ、ペチュニア、ナデシコ)

本キットに普通の紙コップの追加のみで上のようなことができます。より本格的な商品も色々取りそろえております。

(本キットの使用保証期限は常温保存で発送後30日です(発送日は宛名面左下部に記載)。お早めにお使い下さい)。

- ・培養の結果は植物の状態や種類により変わります。必ず器内培養ができることを保証するものではありません。
- ・本キットは植物の器内培養用です。食品・飼料・微生物培地の製造用には使用しないで下さい。
- ・本キット中に入っている機材はすべて低毒性ですが、お子様やペットが触れないようにお気をつけ下さい。万が一誤食などの事故が起きましたならば、直ちに本キットすべてを持参して医療機関で診察を受けて下さい。
- ・本キットを使用した結果による責はいかなるものでもヴィトロプラントスは負いかねます。

## ヴィトロプラント

〒558-0032 大阪市住吉区遠里小野6-3-8

TEL : 06-6606-8099 Fax : 06-6606-8098

[www.vitroplantslab.com](http://www.vitroplantslab.com) ヴィトロプラントで検索

**vip**キット you Try neo をお試し頂き、誠にありがとうございます。



**本キット以外に用意する物**：室温水道水150mL、98℃以上の熱湯150mL、植える植物。

適宜 剃刀（メス、ハサミ）、ピンセット、紙皿、目盛り付き計量カップ、計量スプーン（中～大きじ）、スプレーなどがあると便利です。

①紙コップ（200mL程度のもの）×5～7 同梱されておりません。別途ご用意下さい。

**本キットの内容物**（緑二重線以下および裏面に記した培養操作2回分です）

②次亜塩素酸カルシウム粒（有効塩素70%、0.07～0.1g/粒程度）4～6粒

③eVIP培地（**ウイトロプランツ**開発のインスタント滅菌培地のもと150mL分）×2袋、  
（汎用性の高い1/2MS主要塩類、MS微量要素とビタミン類、pH5.8前後、BA0.1mg/L、NAA0.1mg/L、ショ糖30g/L程度のゲランガム固化培地が150mL作成できます）

④*irVIP G*（**ウイトロプランツ**開発の置床用除菌剤 約1g）×2袋、

⑤ポリエチレン袋×7（1袋は右記のマドラーと結束タイ入り）、⑥マドラー×1、⑦結束タイ×6。

以上の内容を全て確認されましたら、本紙の説明書に従って「どこでも誰でも簡単に」できる植物器内培養をお試しください。なお操作法などを含め不明点など有りましたら**ウイトロプランツ**までお気軽にご連絡下さい。

長期保存には耐えられませんので、サンプル到着後お早めにお使いください。

どうしても保存したいときはキット全体を乾燥剤と共に容器に密封し冷暗所で保存してください。

破損・欠品・取り違いなどがありましたら、**ウイトロプランツ**まで、送料着払いでお送りください。

（〒558-0032 大阪府住吉区遠里小野6丁目3-8 06-6606-8099、www.vitroplantslab.com、claim@vitroplantslab.com）  
 直ちに同等品を返送させていただきます。

ただし、シールされた袋（③、④）を開封・破損・紛失、悪質と見なした場合などは応じかねる場合があります。

### I（培養容器作成）：

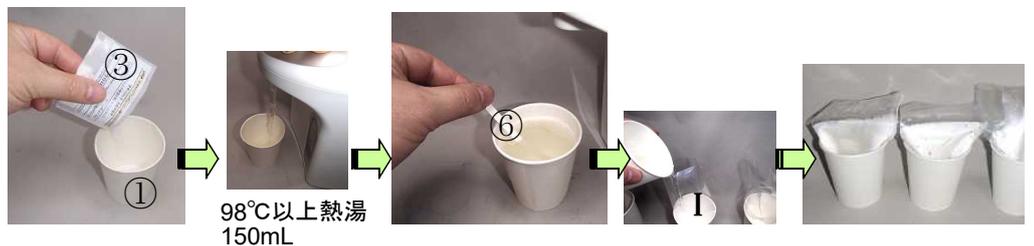
- ①紙コップ3つの内側に
- ⑤のポリエチレン袋を装着します。

（紙コップではなく、耐熱コップなど適当な耐熱80℃以上の容器に、⑤の袋を詰め込んでも問題ありません）



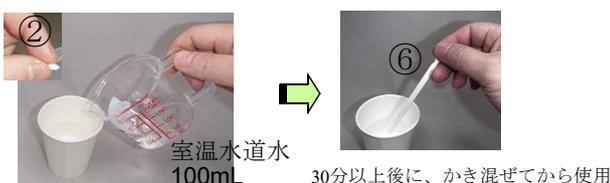
### II（培地作成）：

- Iとは別の①紙コップに③eVIP培地の粉末1袋全量を入れます。
- 次に98℃以上の熱湯を150mL（参照写真程度）を注ぎ、  
（冷めないよう紙コップに直接熱湯を投入して下さい。熱湯量は目分量で問題有りません。熱いので注意）
- ⑥マドラーでかき混ぜて完全に溶解します（マドラーは他でも使用します）。
- 直ちにIで作った3つ紙コップのポリエチレン袋の中に培地を50mL程度づつ注ぎます。
- その後、ポリエチレン袋の口を引き延ばし、上端を折って仮封し、冷却固化します。
- 冷却固化すれば袋内と培地が滅菌され、植物を植えることが可能になります。
- （培地作成用に使用し、空になった①紙コップは次のIIIまたはIVに使用して問題有りません）



### III 塩素液 作成

- ①紙コップの1つに、
- ②次亜塩素酸カルシウムを1粒（0.07～0.1g）と水道水をコップ半量程度（100mL）を加えて静置します。粒が完全に崩壊（30分程度）してから、⑥マドラーでよく攪拌します。
- （マドラーは他でも使用します）



### IV *irVIP G*液 作成

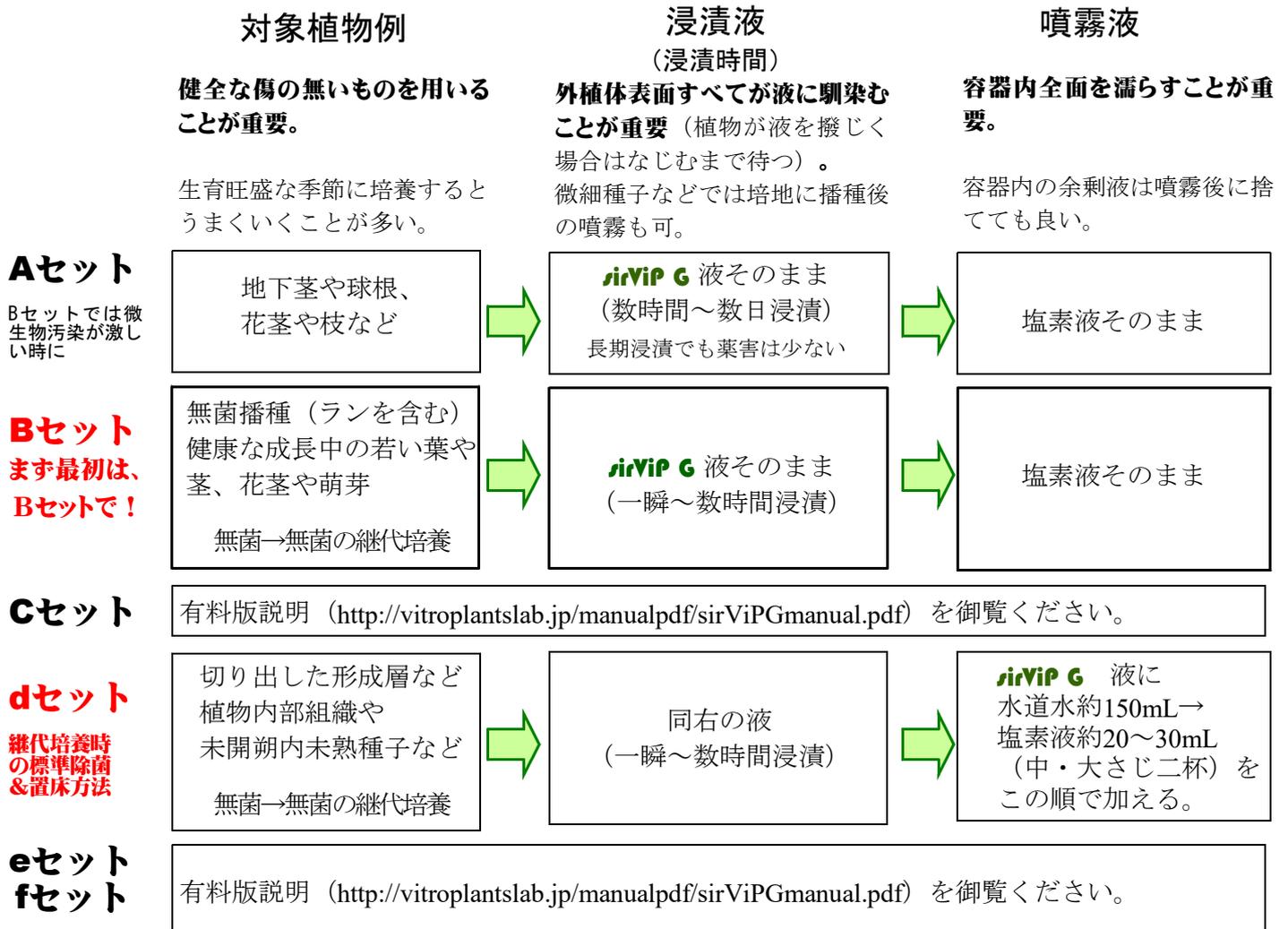
入れる植物によっては使わない場合もあります。作業前に裏面Vをお読みください

- ①紙コップの1つに、④*irVIP G*を1袋と水道水を中～大きじ1杯（10～15mL）を加えて静置します。
- 裏面の後行程での**使用直前**に⑥マドラーでよく攪拌します。
- なお、*irVIP G*は水溶しません。黄白濁した水和液です。



裏面（外植体除菌・置床操作 まず最初に表面『vipキット you Try neo の使用法』のIから開始して下さい）

V 植えられる植物に合わせた浸漬液と噴霧液を作成します（よくわからない場合は「Bセット」をお選びください）。



VI Vで作成した浸漬液と噴霧液を使用して、培地に植物を植えます。



**浸漬液への外植体浸漬は、外植体表面すべてが濡れるようにして下さい。** 外植体が水をはじく場合は、しばらく待たば馴染みますので、その後にかき混ぜるなどして濡らして下さい。なお、外植体全体が浸漬液に浸かっている必要はありません（長時間浸漬の場合でも。乾燥は厳禁：薬害）。

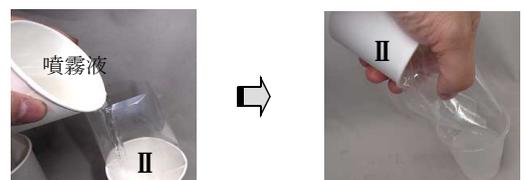
**無菌播種をする場合は、浸漬液に浸漬前に別途、休眠打破などの必要があることがあります。**

例：コチョウランやデンドロビウムの完熟種子：  
次亜塩素酸ナトリウム（ハイターやアンチホルミンの5～10倍液）で 10分ほどの浸漬（未熟種子ではやってはいけません）。

ジベレリン浸漬や超音波洗浄、種皮の機械的な傷付け、高濃度の塩水中での貯蔵、流水さらしなどが有効なものもあります。

熱シーラーがあれば、熱シール封の方がより良い

**スプレーがない場合は、噴霧液で培養器中を濡らす**



II培養容器（ポリエチレン袋）内に噴霧液を数十mL注ぐ。 → 培地が落ちないように袋の外から指で押さえて溶液を捨てる。

VII 培養器を直射日光の当たらない、明るい窓際などで培養します。